

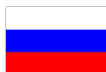
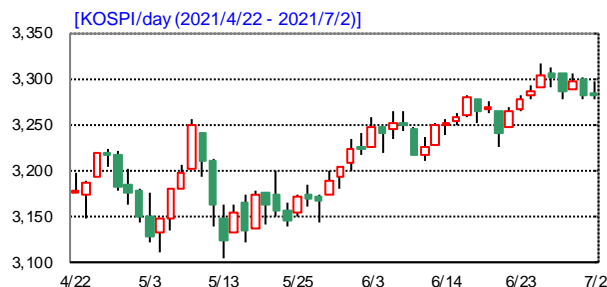


【韓国】 総合指数は週間で0.6%安と7週ぶりに反落、今週も利益確定売りに警戒

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.6%安と7週ぶりに反落。週明け6月28日に5営業日ぶりに反落すると、29日も続落し、節目の3300ポイントを割り込んだ。前週末に過去最高値を付けた後とあって、過熱感から利益確定売りが膨らんだ。SKハイニックスやサムスン電子などハイテク株が売られたほか、鉄鋼などの景気敏感株も下げている。30日は買い戻しが入り、3日ぶりに小反発したものの、7月1-2日は続落。1日から韓国国内の新型コロナ感染防止策が緩和される予定だったが、新規感染者数の増加を受けてソウルなど首都圏で規制の延長が決まり、投資家が運用リスクを回避する姿勢を強めた。今週も高値警戒感から利益確定売りが出やすい状況か。米ハイテク株の動向や韓国国内のコロナ感染状況に左右される流れが続きそうだ。

▼指数チャート

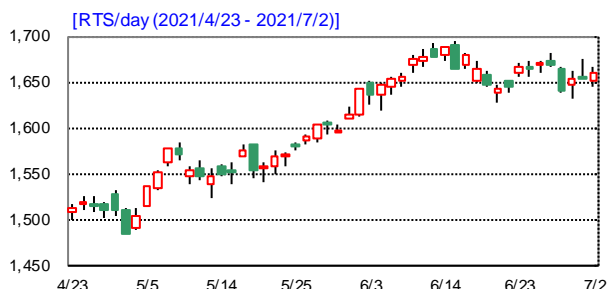


【ロシア】 RTS 指数は週間で0.7%安と反落、今週はもみ合う展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.7%安と反落。原油、海外株安を受けて下落した後、原油の反発を受けて下げ幅を縮小したが、ルーブル安が重しとなった。RTS 指数は週前半に大きく下落。米ドル高・ルーブル安が進んだこともドル建てで取引される指数の重しとなった。ただ、原油相場が反発したことで週後半は3日続伸し、下落幅を縮小した。ブレント原油は前週末の76.18ドルから6月29日に74.67ドルまで下落したが、76.17ドルで終了。ルーブルは対米ドルで1.4%下落した。個別ではエネルギーのノバテクが6.8%高、ガスプロムが3.1%高、ネット検索大手のヤンデックスが2.5%高となった一方、資源のアルロサが4.8%安、ルサルが3.1%安となり、指数を押し下げた。今週は原油相場や海外株をにらみ、もみ合う展開か。

▼指数チャート



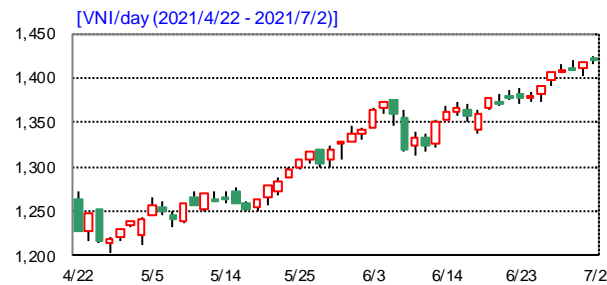
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.2%高と3週続伸、今週も先高観を背景に堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.2%高と3週続伸。当局者の株高肯定発言を好感し、指数は連日のように最高値を更新した。ベトナム市場では週初の28日も主力優良株に資金流入が続き、終値は1.1%高の1405.81ポイント。初めて1400ポイントに乗せた。証券当局者がベトナム株は世界株高を反映した当然の上昇だと発言したことも株式市場への資金流入を強めた。指数は30日に5日ぶりに小幅に反落したが、2日まで連日で最高値を更新し、1420.27ポイントで終えた。個別では食品加工のマサン・グループが8.0%高で、不動産のビンホームズが5.3%高、金融のテクコムバンクが5.2%高。ベトナム・ラバーが3.6%、ベトナム投資開発銀行が3.3%、軍隊商業銀行が3.2%、ホア・ファットが3.2%上昇した。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート



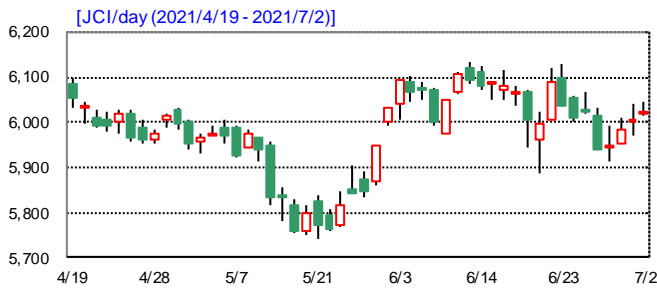


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.01% 高、感染者数増加で制限措置を強化

ジャカルタ総合指数は週間で 0.01% 高とほぼ横ばい。6 月月間では 0.6% 高。先週は週初の下落分をその後の上昇で補った。28 日は国内の新型コロナウイルスの感染者数が 1 日当たり 2 万人を超え、高止まりしていることが嫌気されて指数は前営業日比 1.4% 安と反落。ただ、その後はじりじりと買い戻され、1 日には 4 営業日ぶりに終値で 6000 ポイントを回復した。2 日は感染者数の増加を受けて、前日にジョコ大統領が 3 日から 20 日までの予定で行動制限を強化する措置を発表したものの影響は小さく、結局、4 日続伸して引けている。今週は国内の重要イベントが少ない中、感染者数が減少に転じれば好材料。

▼指数チャート

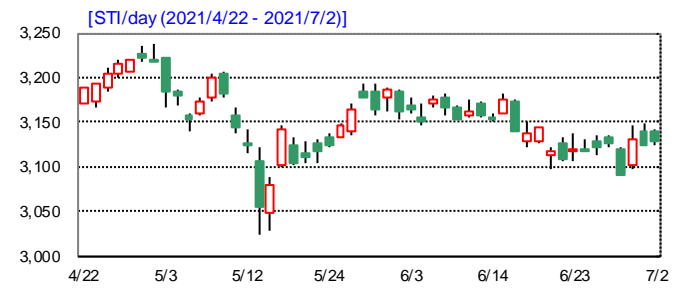


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2% 高、今週は追加経済対策の内容に注目

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.2% 高と 3 週ぶりに反発。6 月月間では 1.1% 安。先週は一進一退の値動きだった。週初の 28 日は、前週末の NY ダウが上昇した流れで 4 営業日続伸。一方、29 日は東南アジア域内での新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響が懸念され、前日比 1.2% 安と反落した。ただ、30 日は金融通貨庁が今年の経済成長率について楽観的な見方を示した効果で 1.3% 高と反発。週後半は狭いレンジでの値動きとなった。2 日の取引終了後に発表された 6 月の製造業 PMI は 50.8 と前月から 0.1 ポイント上昇している。今週は 5 日発表の追加の経済支援策の内容に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

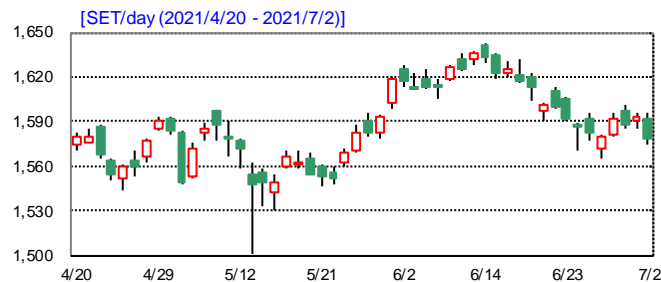


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3% 安、バンコクなどでの規制強化で下落

SET 指数は週間で 0.3% 安と 3 週続落。6 月月間では 0.4% 安。先週は方向感に乏しい値動きが続いた。週初の 28 日は、5 月の鉱工業生産で自動車や空調部門が好調だった効果で前年同月比 25.8% 増と市場予想を上回ったものの、新型コロナの感染者増加を受けて同日からバンコクなどでの規制が再強化された影響で、指数は 8 営業日続落。29 日に反動で買い戻されると、30 日は場中に一時、1600 ポイント台に乗せたが、終値では反落した。1 日はプーケット島で、ワクチン接種済みの外国人旅行者の受け入れを再開したことが好感されて反発。ただ、2 日は再び反落して引けた。今週は 5 日発表の 6 月の CPI が焦点。

▼指数チャート

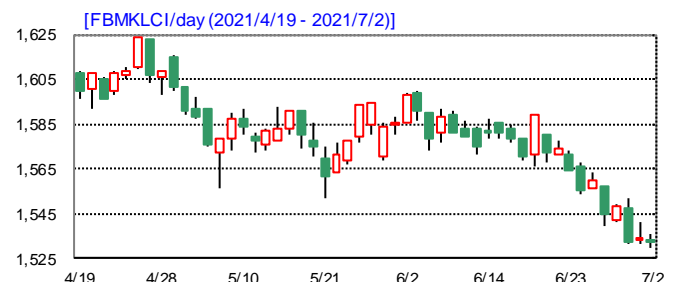


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.7% 安、都市封鎖の期間延長を嫌気

クアラルンプール総合指数は週間で 1.7% 安と続落。6 月月間では 3.2% 安。先週は前半の下落が痛手だった。週初の 28 日は、国内全土で実施されている都市封鎖が延長されたことで売られ、指数は前営業日比 1.0% 安と反落。29 日は反動で買い戻されたものの、30 日は前日に財務相が今年の GDP 成長率を下方修正する可能性を示唆した影響で 1.0% 下落した。1 日は原油価格が上昇した効果で反発したが、2 日はクアラルンプールとスランゴール州の一部地域での行動制限が一段と厳しい水準に設定された影響で、約 8 カ月ぶりの安値を更新している。今週は 8 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。